



でとう ございます

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から市政各般におきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風や記録的豪雨による土砂災害や御嶽山の噴火など自然災害の脅威について再認識させられる年となりました。

このような中、テニスの四大大会である全米オープンでの錦織圭選手の快挙や、ノーベル物理学賞を受賞された3名の方々の活躍など、明るい出来事に、日本中が歓喜に包まれ、私たちに勇気と感動を与え、多くの人の励みとなったことと存じます。

さて、昨今の日本経済はアベノミクスの経済政策により、順調な回復を迎えておりましたが、昨年4月の消費税増税以降、個人消費などの国内民間需要が低迷するなど、景気回復の実感は、地域経済にまで浸透しているとは言い難いのが現状でございます。

本市の財政状況に目を移しますと、一般会計の実質収支が黒字に転じるなど、改善の兆しがみられるものの、依然として、社会保障関連経費などの割合が高い状況にあり、安定した財政運営への道のりは遠く、硬直状態にあります。

本市では、質の高い行政サービスの提供を可能とする組織とするため、機構改革を実施し、施策の1つであった小中一貫校開校に向けた施設整備や中学校給食の導入をはじめとする教育環境・子育て支援の充実など、安心して子育てのできるまちづくりを推進してまいりました。

将来にわたり安定的な財政基盤を構築し、市民の皆様にとって真に必要な施策を実施していくために、引き続き、全庁一丸となって効率的な行財政運営に努めてまいり所存でございます。

そして、将来都市像を「育つ・にぎわう・響きあう 人と心が集うまち 歓響都市もりぐち」と掲げ、すべての市民が夢と希望を抱き、子どもたちの笑顔があふれるまちの実現に向け、鋭意取り組んでまいりますので、皆様には、より一層の市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

「かん きょう 歓響都市もりぐち」の実現へ

新年の「あいつつ」 平成二十七年



守口市長 西端 勝樹



あけましておめ

誰もが安心して豊かに
暮らせるまちづくりへ

新年のごあいさつ 平成二十七年

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた晴れやかな新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は市議会活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

本年は「未年^{ひつじとし}」であります。縁起話として、「群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも仲良く暮らす事」や羊の文字には、「吉兆、幸い、めでたい」という意味があるそうです。本年が市民の皆様にとりまして、誰もが幸せを実感できる一年となりますようにお祈り申し上げますとともに、市議会といたしましても市と連携し、今後更なる市政発展に向け取り組んでまいります。

さて、昨年^{ひつじとし}の日本経済はデフレからの脱却を掲げた政策により、若干回復傾向にありましたが、消費税増税後は、個人消費の低迷が続いたことから、先行きが不透明な状況となっております。一日も早い安定した景気回復を希望してやみません。

一方、本市の財政状況においては、一般会計における実質収支が黒字となりましたが、これからも安定した財政運営に向けて真摯^{しんし}に取り組むとともに未来を担う子どもたちのため、学校耐震化や統廃合が進むなか、これからも教育の充実などに努めてまいります。また、本年4月からは、医療費助成を中学校卒業までに対象の拡充を行うなど、今後も市民の皆様の誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくりの実現に向け、鋭意努力してまいり所存でございます。

市議会といたしましても、身近で開かれた議会として、これまで本会議の録画配信など、さまざまな情報発信を行ってまいりましたが、昨年7月には政務活動費の収支報告書および領収書などの写しを本市情報コーナーで公開するとともに、市議会ホームページにも掲載いたしました。今後も多様化する市民ニーズに的確に答えながら議員一丸となって全力を尽くす所存でありますので、これからもご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様にとりまして、健康で幸せな年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



守口市議会議長
和仁 春夫